



温州ミカンでは、安定的に高品質果実を生産するため、畝部への雨水流入を遮断するシールドینگ・マルチ（NARO S・マルチ、以降S・マルチ）栽培が開発されています。そこで「原口早生」を用いてS・マルチ栽培の品質向上効果と経営評価について検討しました。

収穫時の果実品質は、S・マルチ栽培が慣行マルチ栽培に比べ、糖度が1以上高く、酸含量は約0.2%／100g、糖酸比高くなりました。また、収穫時のブランド率は、S・マルチ栽培が慣行マルチ栽培に比べ10%程度高くなりました。出荷量10t当たり3tで試算すると、S・マルチ栽培が慣行マルチ栽培より粗収益で

6万円程度多くなりました。経営費はNARO S・シート（商品名S・シート）の減価償却費がかかり、慣行マルチ栽培より高くなりましたが、所得はS・マルチ栽培

## 温州ミカンのS・マルチ栽培 「原口早生」の品質 ブランド率が向上

が慣行マルチ栽培に比べ、2・5万円程度増加しました。この試験圃場（ほじょう）でのS・マルチの施工は2023年6月に行い、農研機構発行の「カンキツにおけるシ

S・マルチ栽培「原口早生」の果実品質と経営評価試算

栽培方法	糖度 (Brix%)	酸含量 (g/100ml)	ブランド 率(%)	粗収益 (千円/10a)	経営費 (千円/10a)	所得 (千円/10a)
S・マルチ栽培	13.9	1.07	71.6	746	348	398
慣行マルチ栽培	12.4	0.86	60.2	683	310	373

マニュアルは下記からダウンロード  
[https://www.naro.go.jp/publicity\\_report/publication/files/s\\_multi\\_manual\\_20200630.pdf](https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/files/s_multi_manual_20200630.pdf)

ールドینگ・マルチ栽培（S・マルチ）の技術マニュアルに基づき施工しました。マニュアルは表下のURLからご覧ください。  
（長崎県農林技術開発センター 果樹・茶研究部門カンキツ研究室 主任研究員・中里 一郎）